



平成22年4月19日

各位

会社名 和興エンジニアリング株式会社
代表者名 代表取締役社長 矢澤 久司
(JASDAQ・コード1756)
問合せ先 取締役専務執行役員
経営管理本部長 嶋本 昭洋
電話 03-6404-2602

業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年5月12日の決算発表時に公表した平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正したのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	32,730	465	490	250	15.73
今回修正(B)	31,190	60	100	△395	△24.86
増減額(B-A)	△1,540	△405	△390	△645	——
増減率(%)	△4.7%	△87.1%	△79.6%	—	——
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	31,400	△178	△145	△253	△15.94

2. 平成22年3月期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	31,500	400	415	210	13.21
今回修正(B)	30,050	160	190	△355	△22.34
増減額(B-A)	△1,450	△240	△225	△565	——
増減率	△4.6%	△60.0%	△54.2%	—	——
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	29,646	△34	△18	△114	△7.19

3. 修正の理由

(個別)

当第3四半期連結累計期間における業績を踏まえ、第4四半期においては、引き続き営業活動の強化や外注費の適正化を推進する一方、更なる固定費の削減、これまでの繰り延べ工事を含めた年度内竣工の促進などに取り組み、利益の確保に努めてまいりました。

しかし、景気回復の遅れに伴う情報通信をめぐる投資抑制が想定以上に厳しかったことなどにより、売上高が当初予想を下回る見込みとなり、収益面においても施策効果の遅れなどにより営業利益、経常利益および当期純利益が当初予想を下回る見通しであります。

(連結)

個別業績と同様の理由により、営業利益、経常利益および当期純利益をさらに押下げることとなり、当初予想を下回る見通しであります。

4. 特別損失の計上

個別業績については、本日「希望退職者募集の結果に関するお知らせ」で公表した希望退職者募集に伴い発生する特別加算金等（315百万円）および退職給付会計制度における大量退職に対応する一時償却費用（446百万円）の合計が761百万円となり特別損失が発生する見込みであることから、当期純利益は当初予想を下回る見通しであります。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、予想には様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

以 上